

本を選ぶ

NO. 484 2025年(令和7年)9月20日

●発行／ライブラリー・アド・サービス

<https://www.las2005.com>

本社 〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●<ろん・ぼわん>岐路とY字路 復

●展示会見学報告作成によって書誌を記録すること

●『本と歩く人』

ードイツから届いた現代のメルヘンー



岐路とY字路 復

このところ新聞各紙の誤報が続いて、話題になった。読売新聞は、首相が辞めるとは明言していないのに辞めるという号外を出してしまった。結果、大誤報となって出さざるを得なくなった検証記事もスクープのつもりだったせいか反省の弁よりも恨みがましい一節の方が問題になった。国のトップに関わる問題だけに、読者への影響は小さくない。そしてさらなる誤報も続いてしまい、そうすると新聞の正当性が強く問われる。皮肉にも他紙の誤報や不祥事も相次いだ。新聞記事はその場での修正はきかないから、なかなか大変だ。

読売を読者として読むと庶民的で中庸な印象だ。その歴史をみると、朝日や毎日は大阪が本社であるのに対し、もともと読売は東京が発祥の地方紙だった。戦前に大阪進出を試みたものの戦時下だったので成就しなかった。当時のトップが毎日新聞のようにスクープや特ダネを狙うというよりは営業寄りで、購読者獲得に相当熱心だったようだ。そんな地道な努力が実って戦後になってようやく大阪読売新聞がスタートし、念願の全国紙となった。一時は世界一の発行部数を誇った時期もある。

活版時代と新聞電子版発行の話題に戻ろう。新

聞社に限らず官公庁、自治体、公立私立の学校、図書館、民間事業者、税理士・司法書士・行政書士・弁護士・公証人、そして印刷会社などの業務の現場に1915年に発明された和文タイプライターは不可欠だった。文字を日々扱っているからだ。かつては公文書にも和文タイプライターが使われていた。もちろん図書館でも活躍した。

タイピストという職業分野には英文と和文タイピストの二つに分かれ、英文は当時の花形職種としてもはやされたが大使館や外資系企業など職場は限られる。一方、和文タイピストを雇用する職場は官庁から民間まで広範囲に及び、タイプ室を設ける職場がほとんどだった。

和文タイプライターの操作はかなり難しい。機械にもよるが2000字ほどの文字盤から正確に文字を拾っていく作業には高度な習熟が必須で、専門学校で厳しい訓練を受けた上で資格を取得した人たちでないと使いこなせない。文字を拾う、打ち込む、印字する、体裁を整える、まさに活版印刷の工程と同じではないか。それを一人でこなす。

1980年代にワープロが登場してからは、和文タイプライターとタイピストたちも大きな岐路を迎えた。もはや社会から必要とされなくなったのだ。非情にもPCとワープロソフトが普及するとさらに時代は大きく変わってしまった。

写植も過去の技術となったが版下作成という点において技術としては和文タイプと似た職域だ。図版などは挿入できないけれども、文字であれば書体は自在に、また多彩に選択できる。(埜村太郎)

展示会見学報告作成によって書誌を記録すること

菅 修一

I. はじめに

筆者は図書館職員時代、勤務していた図書館が所蔵する古書の展示会を企画することに魅力を感じた。特に、ギャラリートークをした際の見学者の反応が嬉しかった。加えて、展示目録と関係者の寄稿を掲載した冊子を編集した。2008年、滋賀医科大学附属図書館勤務時には滋賀県立図書館と共催で「湖国の医史」資料展示会を企画した。冊子には滋賀県立図書館所蔵の人物誌資料から抽出した6頁から成る「滋賀の人物誌資料に見る医療関係者」という人物リストを職場の仲間と作成した¹⁾。その2008年から10年以上経過した2020年、当時の職場の仲間から、その人物リストにより滋賀県の種痘医を何名か新たに知ることができた、と歴史研究者から研究成果²⁾の別刷りを同封して連絡があったとの知らせがあった（詳細は「本を選ぶ」no. 420号p. 4参照）。展示会を企画することの喜びを感じた。図書館の現場を離れた今は博物館や文書館あるいは図書館で開催される資料展示会の見学報告を書くことに魅力を感じている。滋賀医大図書館勤務時にご縁を得た「医学図書館」誌に医療史関係の見学報告を40件以上投稿した。最近の本誌「本を選ぶ」にも何度か見学報告を掲載していただいた。以下、見学報告を書くこと、記録として残すことの意味について述べたい。

II. 取材すること

筆者は必ず事前に資料展示会担当者の方に取材訪問についてのアポイントメントを取ったうえで資料展示会を訪問する。

展示会場では、まず、展示会場に掲示されている展示趣旨や展示解説の掲示ボード、各資料に添えられている解説キャプションを読み、展示内容を把握することに努める。その上で、展示会担当者の方に直接お話を伺う。お話を伺うと、解説掲示やキャプションに書かれていた事柄が立体感を持って把握できるように感じる。展示資料の背景、展示資料について展示担当者が参考にされた文献についてお話くださることもある。展示担当

者にお会いできてこそその情報は忘れずに記録することになっている。

III. 原稿に書くこと

筆者が見学報告を書く資料展示会は、チラシや1枚ものの展示品リストは配付されるものの図録が発行されることは僅かである。展示会期が終了すると、その展示会場にあった情報が全て消えてしまう。だから、展示会の様子、得られた情報を極力再現し、読者に伝えるべく書いていく。展示会が終われば、消えてしまう資料展示会の内容の記録、それを読み物として文章化して後から振り返ることができるようにしたい。そういう気持ちで書く。限られた誌面、限られた文字数になるので、全てを書くことはできない。だから、資料展示会を見て特に自分が関心を持ったこと、特に読者に伝えたいと思ったことを選んで書いていく。

なお、書いた原稿は必ず展示会担当者の方に点検をお願いしている。原稿内容の正確性を期すため、また、展示会主催者の意図と離れるようなことがないようにするためである。

IV. 書誌を記録すること

筆者は見学報告を作成する際、資料展示会で紹介されていた事項について、書誌的記録を忠実に残していこうと思うようになった。

例えば、広島市立郷土資料館で開催された企画展「似島と金輪島：軍用港を支えた二つの島」（開催期間：2021年12月4日～2022年1月8日、3月8日～27日）では、日清戦争の頃、帰国する兵士の検疫を行った様子を『臨時陸軍検疫部報告摘要』などを基に詳しく紹介していた。『臨時陸軍検疫部報告摘要』は陸軍省が1896年に刊行した図書である。国立国会図書館デジタルコレクションでは“ログインなしで閲覧可能”にて検索された。『臨時陸軍検疫部報告摘要』という資料の存在を知ることにより、日清戦争時の似島での検疫をより詳しく知ることができる。『臨時陸軍検疫部報告摘要』は

国立国会図書館デジタルコレクションで容易に内容を読むことができる資料なのだが、この資料の存在を知らなければ、国会図書館デジタルコレクションの大海の中から同書を探し出すことは困難である。書誌が記録されているからこそピンポイントに資料を探し出せる。書誌的記録が記されていることの重さを感じた。

高知県立公文書館で開催された企画展「地域を支える保健活動－保健婦駐在制とその後－」（開催期間：2024年8月13日～2025年2月14日）取材の際には展示担当者から高知県の駐在保健婦経験者の聞き書きを記録した民俗学研究者である木村哲也氏の著書『駐在保健婦の時代：1942－1997』（医学書院 2012年）をご教示いただいた。同書は展示資料ではなかった。展示担当者からのご教示があってこそ知ることができた図書であった。

本誌 no. 477（2025年2月）には吹田市立博物館で開催された特別展「紙芝居の歴史と阪本一房」の見学報告を掲載していただいた。同展では紙芝居の歴史が紙芝居現物と共に紹介されていた。幸い展示図録も刊行されていたので、資料展示会終了後も展示内容を容易に振り返ることができる。各紙芝居に対しては詳しい書誌が記されていたので、展示図録自体が優れた書誌として機能していた。だが、そうであったとしても、この展示会があったことを知ることは後日になると困難になる。できれば、過去にさかのぼり全国各地の博物館・文書館で数多く開催される資料展示会を一覧できる記録があればと思う。

V. おわりに

以前、図書館関係の書物も刊行されている金沢文圃閣の田川浩之代表にお話を伺うことがあった³⁾。田川氏が交流されている研究者の方は、ある研究会で「書誌か」と書誌を軽んじる発言を投げかけられ嘆かれていたという。

書誌は単なる各資料に関する情報に過ぎないのであらうか。いや、そうではない。各資料に関する情報つまり書誌が整理され記録されているからこそ、ある事象について、より深く知ることが可能になる。書誌を記録し、その書誌を整理してい

るからこそ、いろいろな事象について、より深い学びが可能となる。書誌が記録されることはとても大事なことである。筆者1人では展示会報告記事を記録に残すことは僅かしかできない。筆者は展示会見学報告記事の作成を昔の職場の同僚や筆者の執筆記事に感想を送ってくださった方にお願ひし、展示会報告記事作成の輪を広げている⁴⁻⁶⁾。

以下は呼びかけになります。いろいろな切り口の資料展示会が各地で開催されています。資料展示会に足を運んでこそ得られる情報があります。図書館に関わる私たちとしては書誌情報を中心に丁寧に記録していきませんか。多様な資料展示会の内容を書誌にこだわりながら読み物として記録しておくことも先人の知恵のちに伝えることになると思うのです。

（すが しゅういち：花園大学非常勤講師）

本稿は筆者が第40回医学情報サービス研究大会（2025年8月23日～24日：札幌）で発表した「資料展示会見学報告記録を書くこと－『医学図書館』誌オン・ザ・スポットへの投稿振り返り－」を基に加筆したものである。

<引用文献>

- 1) 滋賀医科大学附属図書館編. 資料展示会「湖国の医史：先人たちの活躍を知る」記念誌. 保存版. 大津：滋賀医科大学附属図書館；2009. pp. 65-70.
- 2) 古西義麿. 近江の種痘と種痘医・中村雄哉について. 御影史学論集. 2019；(44), 209-218.
- 3) 菅修一. 金沢文圃閣代表・田川浩之氏にお話を伺う：書誌のこと、復刻出版のこと. 医学図書館. 2025；72(2), 37-39.
- 4) 寺升夕希, 藤村三枝, 菅修一. 甲賀市くすり学習館企画展「くすりと甲賀忍者：その知恵と技」見学報告. 医学図書館. 2021；68(3), 206-208.
- 5) 櫻井待子. 京都大学総合博物館2021年度企画展「医師になる！：京都大学の医学教育」を見学して. 医学図書館. 2021；68(4), 287-290.
- 6) 榊原佐知子. 新美南吉記念館企画展示「新美南吉生誕110年：南吉と長野ヒデ子の母の世界展」見学報告. 医学図書館. 2024；71(1), 41-44.

『本と歩く人』

ードイツから届いた現代のメルヒェンー

川東 雅樹

本を愛し、書物とともにあることが生きがいの孤独な老書店員が、利発でこましゃくれた9歳の少女と出会い、みずからの閉ざされた世界を破られ、現実世界との新たな接点を取り戻していく物語。

老舗の書店〈市壁門堂〉に勤めるカール・コルフは、特定の顧客にそれぞれの嗜好を熟知したうえで毎晩徒歩で注文の本を届け、感謝されている。カールは顧客たちをひそかに本の世界の住人の名前（ミスター・ダーシー、エフィ・ブリースト、長靴下夫人、ファウスト博士など）で呼び、古くて狭い旧市街を本の世界に見立てて生き、そこで自足している。

ある日突然、やはり本好きで好奇心旺盛な少女シャシャが現われ、本の配達に同行し、顧客の生活に立ち入り、カールと顧客たちの間の静的で安定した関係を攪乱する。顧客たちがそれぞれに問題（孤独、家庭内暴力、生きがいの喪失、果たせぬ夢、文盲など）を抱えていることが次第に明らかになり、シャシャは状況の改善を訴える。カールは余計なお節介だと躊躇するが、シャシャの行動力と熱意とアイデアに翻弄される形で顧客たちの困難の解決にかかわり、彼らの生活に新たな側面をもたらしていく。

他方、父グスタフから〈市壁門堂〉を継いだ娘ザビーネの経営方針で本の配達サービスが禁止され、さらにシャシャの父親からの横やりで書店を解雇されたカールはこれまでのように本の配達を続けることが困難になる。おまけにシャシャが姿を消し、また路上で受けた暴行により重い怪我を負った。カールは生きがいを喪失して引きこもり、ただ死を待つばかりとなる。そこから彼の顧客たちやシャシャが活躍しはじめる……

目次のタイトルはすべて世界文学の名作から採られている。ほのぼのとした読後感に包まれ、読書と文学へのオマージュといえる、いわば現代の

メルヒェンのような作品。現世を冷ややかに見つめる達観した老人と、この先まだ幾多の経験が待ち受ける少女という好対照の存在が交わす掛け合いの面白さも本書の魅力である。

文章はシンプルで、静謐^{せいひつ}でありながら生の深淵をのぞかせ、諧謔^{かいぎやく}が滲み出て、なおかつ憂いを帯びている。随所に人生をめぐる苦く辛辣なアフォリズムと慰めと諦念へと誘う機知の言葉が散りばめられ、読む喜びだけでなく読書の仕掛けるあやうい罫を示唆してもいる。また、多様なジャンルの有名な文学作品、とりわけ古典へのさりりとした言及が背後にある世界の奥行きを想像させる。



白水社

カルステン・ヘン 著

川東 雅樹 訳

ISBN : 9784560091722

誰にでも本の世界の人物から選んだ愛称をつけていたカールが、少女シャシャにだけはふさわしい名前を見いだせなかった点は興味深い。ミヒャエル・エンデの『モモ』のようにどこか別の次元からやってきた妖精のような存在とは違い、シャシャに世界を変える特別な力はない。だが、現実の煩わしい事件とじかに向き合う唯一無二の存在として、つまりシャシャとして自立しているのであり、この新たなヒロインを世に送り出したのがこの作品の大きな手柄であるといえる。

衝撃をもたらす問題作というわけではなく、読者の世界観をひっくり返す

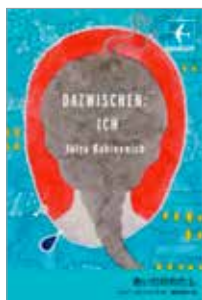
文学とは縁遠いところにあるが、物語という虚構に身を浸す読み手の自分と登場人物や語り手が混じり合う奇妙な心地を、すなわち読書の醍醐味を味わうことができる。この老人と少女は間違いなく読者のなかで確たる存在となっており生き続けるだろう。

2021年の刊行後、ドイツで一年以上にわたりベストセラーの上位を占め、英語、スペイン語、ポルトガル語など各国で翻訳されている。映画化もされ、昨年10月にドイツ本国で公開された。

（かわひがし まさき：翻訳者）

■「10代がえらぶ海外文学大賞」でノミネートされた7作品をご紹介します。

いよいよ9/1～9/26が第2次投票期間！10代が選ぶ大賞作品はどれになるでしょう！？結果発表は10月です。
みなさんもお気に入りの1冊を見つけてくださいね。（LAS探検隊）



『あいだのわたし』

ユリア・ラビノヴィッチ 作 / 細井 直子 訳
岩波書店



『すばやい澄んだ叫び』

シヴォーン・ダウド 作 / 宮坂 宏美 訳
東京創元社



『ソリアを森へ』

チャン・グエン 作 / 杉田 七重 訳
鈴木出版



『ハリネズミ・モンテカルロ食人記・森の中の林』

鄭 執 作 / 関根 謙 訳
アストラハウス



『ぼくの心は炎に焼かれる
植民地のふたりの少年』

ビヴァリー・ナイドゥー 作
野沢 佳織 訳
徳間書店



『闇に願いを』

クリスティナ・スートンヴァット 作
こだま ともこ 訳 / 辻村 万実 訳
静山社



『わたしの名前はオクトーバー』

カチャ・ベレン 作
こだま ともこ 訳
評論社

※表紙画像は、国立国会図書館サーチの書影APIのデータ（データ提供機関：出版情報登録センター）を利用しています。

DMかたろぐ

広い世界の芸術にふれる全3冊！

美術にふれる絵本セット

ハリエット・ヴァン・レーク / ワウター・ヴァン・レーク 作
野坂悦子 / 訳 ●A4変 / 平均26頁 / 定価：本体4,400円＋税



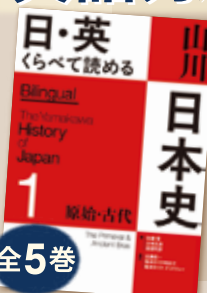
モンドリアン / ヒルマ・アフ・クリント / エゴン・シーレ

朔北社

〒191-0041 東京都日野市南平 5-28-1-1F
TEL042-506-5350 <http://www.sakuhokusha.co.jp>

日・英くらべて読める
山川 日本史

英語力×歴史力！



日本史教科書の
英語文と
日本語文を
くらべて読める！
バイリンガル
日本史

全5巻

- 1 原始・古代
- 2 中世
- 3 近世
- 4 近代・現代Ⅰ
- 5 近代・現代Ⅱ

編 佐藤 信 訳 近藤成一
五味文彦 亀井ダイチ利永子
高畑利彦 亀井ダイチ アンドリュー



山川出版社

全てB5判、定価1,980円～2,420円（10%税込）

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-13-13 <https://www.yamakawa.co.jp>

B. ヤアラン／根本 彰 訳

知識組織論とは
なにか図書館情報学の展開 生成AIの時代を
読み解く重要古典。 5720円

奥野正寛・グレーヴァ香子

自発的関係社会の
ゲーム理論神取道宏氏推薦「日本人研究者の手にな
る世界に誇るべき金字塔」 3960円勁草書房 TEL 03-3814-6861 *価格税込
FAX 03-3814-6854〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 <https://www.keisoshobo.co.jp>(臨床心理士) (児童精神科医)
桑野恵介・館農幸恵 [著]実践!
児童発達支援
ガイドエビデンスに基づく支援で
質の向上を目指したい
あなたへ児童発達支援の現場で質の高い支援を提供するには
何をどうすればよいのか。エビデンスに基づく
具体的なアイデアが詰まった1冊。

●予価2750円(税込) 978-4-535-98548-3

11月中旬刊

入門 | 公共経済学

第3版

土居丈朗 [著]

法人税改革、地方分権改革等の新たな動きにも
触れながら全体をアップデートした最新版。

11月中旬刊

●予価3410円(税込) ISBN 978-4-535-54120-7



日本評論社

〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4
☎ 03-3987-8621 <https://www.nipponyoko.co.jp>

さらに、法学を知りたい君へ

社会とつながる13講

東京大学法学部「現代と法」委員会 編

東京大学で1・2年生向けに開講されている人気
講義「現代と法」の書籍化第3弾。多様で複雑な
現代の課題に、法はどう向き合うのか。災害へ
の備え、多様化する働き方、AIと著作権など、
社会とつながる13の講義を収録。[9月18日発売] 四六判 定価1,980円

政治学の第一歩 第3版

砂原庸介・稗田健志・多湖 淳 著

一貫した視点(合理的選択と戦略的相互作用)で、
政治学のエッセンスを簡潔に説明する好評テキスト
の最新版。視点はそのままに、取り上げるト
ピックや構成を見直し、データを更新している。
これから政治学を学び始めようとする人に最適。

[9月17日発売] 有斐閣スタジオA5判 定価2,090円

有斐閣 東京都千代田区神田神保町2-17
<https://www.yuhikaku.co.jp/>価格は
税込

中高生からの科学探究シリーズ

ミネルヴァ

サイエンスライブラリー

なぜクマやイノシシが増えているのか
① 動物たちの「増え過ぎ」と
絶滅を科学する

齊藤 隆著

四六判美装カバー 252頁 / 2200円



異なる生物とうまく生きていくには

② ダニの共生戦略

白黒つけない、したたかな生き方

岡部貴美子著

四六判美装カバー 276頁 / 2200円



新 シ リ ーズ 創 刊

ミネルヴァ書房 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL 075-581-0296 ※価格税込

自叙伝のニエー!
赤塚不二夫
松木健也 編

長く入手困難だった幻の初エッセイを約60年
ぶりに完全復刻。歴代の単行本未収録エッセイ
& インタビューも厳選して収録する。2970円

晶文社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-11
Tel 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>

ESTRELA

■2025年9月号
No.378/9月10日発行
B5判 64ページ
定価1,205円(税込)

[特集] 計量生物学とは

■計量生物学への招待と日本計量生物学会の活動
服部 聡 (大阪大学 大学院医学系研究科 医学統計学 教授)
寒水 孝司 (東京理科大学 工学部情報工学科 教授)

■臨床研究倫理と計量生物学

— 日本計量生物学会 試験統計家認定制度 —
大門 貴志 (兵庫医科大学 大学院医学研究科 生物統計学 教授)
長谷川 貴大 (塩野義製薬(株) 医薬開発本部 解析センター長)
手良向 聡 (京都府立医科大学 大学院医学研究科 生物統計学 教授)

■医薬品承認申請における生物統計家の役割について

安藤 友紀 (独医薬品医療機器総合機構 上級スペシャリスト(生物統計担当))

公益財団法人 統計情報研究開発センター(Sinfonica)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5階
TEL: 03-3234-7471 <https://www.sinfonica.or.jp/>